



ケニア国より良い生活のための 地方水衛生実施能力強化プロジェクト プロジェクトニュース③



ケニア水省によるプロジェクト活動のモニタリングと評価の実施（2025年5月）

本プロジェクトでは、プロジェクトアプローチ（詳しくは[プロジェクトブリーフ](#)をご参照ください）として、既存給水施設の運営状況の改善や持続性向上を目的に、動力源として発電機を使用している施設では、燃料費の削減を図るための太陽光発電の導入や、老朽化した施設の更新（例えば老朽化した動力ポンプの交換）を実施しています。

これに関連し、本プロジェクトを実施するケニア水省（以下、水省）と JICA 専門家チームは、太陽光発電の設置などを行った施設を訪問し、プロジェクト進捗をモニタリングするとともに、プロジェクトアプローチの効果を評価しました。このモニタリング及び評価は、2025年5月上旬に実施し、水省からは、本プロジェクトマネージャーのパトリシア氏、ならびに予算配分担当のロレックス氏が参加しました。

施設訪問した際、利用者から、太陽光発電の導入によって、これまで不稼働の施設が再稼働し、現地の水アクセス環境が大幅に改善されたことや、発電機の燃料費削減による維持管理のメリットについて説明がありました。施設更新により、建設から約 20 年にわたり稼働し続け、今もなお当該地域の水アクセスに貢献している施設の存在も確認しました。また、プロジェクトサイトの一つである地方政府事務所（キツイ郡）を訪問し、地方給水の維持管理に関する課題や取り組みについて意見交換も行いました。

本モニタリングを受け、水省は「既存の給水施設の更新やアップグレードは、少ない投資で既存施設を有効活用し、持続性を向上させるための有効なアプローチである」と評価し、「地方の既存給水施設を大切にし、更新やアップグレードに予算を適切に配分していく必要がある」と総括しました。ケニアでは、水アクセス改善のための予算は限られ、その多くが都市給水に割り当てられています。そのため、限られた予算の中でも地方給水施設の持続性向上や水アクセスの改善を実現できる本プロジェクトのアプローチが、今後少しでも注目され、ケニア全体で推進されることを目指していきたいと考えます。以上



更新実施中の給水施設にて、維持管理住民組織の女性リーダーと JICA 専門家



地方政府事務所での意見交換



本プロジェクトで更新やアップグレードした施設にて、利用者から施設状況に関する聞き取りを実施